やまびこ

第１８号
発行
社団法人　和歌山県青少年育成協会
〒640-8319
和歌山市手平2-1-2　県民交流プラザ
和歌山ビッグ愛9階
TEL 073−435−5236
FAX 073−435−5238
http://wpyda.org/

目　次

和太鼓体験教室 ……1
「家庭の日」啓発促進事業 ……2
リレー式次世代健全育成事業 ……3
「少年メッセージ2009」和歌山県大会 ……4、5
青少年リーダー活動等支援事業 ……6
青少年健全育成県民大会・表彰関係 等……7
平成22年度 事業予定 等……8

和太鼓体験教室

当協会では、平成21年10月から子どもゆめ基金助成事業「和太鼓体験教室」を開催し、将来を担う子どもたちが、日本の歴史・風土の中で培われた「和太鼓」、この和太鼓に触れ、練習を重ね、その成果を発表する。という体験を通じて、伝統文化の継承や地域における青少年の自主性や社会性を養い、健全な青少年を育成することを目的として、本事業を実施しました。

体験教室には、小学3年生～中学生17名が参加し、12回の練習を経て、平成22年1月24日(日)に有田市民会館でその練習の成果を発表しました。

発表会当日は、県内で活動中の太鼓グループのメンバーや、りら創造芸術高等専修学校の生徒等を招き、太鼓演奏だけではなく太鼓とダンスの競演を通じ、技術の向上と仲間との交流を図りました。

和太鼓体験教室を振り返って（和太鼓指導　嶋本龍）

和太鼓未経験の子ども達に、4か月の練習（全12回）で舞台演奏を習得してもらうには期間が短く、最初は不安でしたが、練習が進むにつれ「早く皆に見てもらいたい」と演奏当日が楽しみになりました。

演奏は観客の評判もよく、他の団体さんにも負けない素晴らしい出来でした。太鼓は誰が打っても鳴ります。しかし、感動を呼ぶ音は、気持ちを込めないと生まれません。彼らの音には、演奏する喜びがあふれていました。「太鼓を学ぶ」のではなく、「太鼓で学ぶ」ことができた結果だと思います。

保護者からお手紙

先日の発表会とても感動しました。子どもも最初は「大きいなぁ広いなぁ」と不安気味でした。リハーサルも何から何まで初めての事で、かなり親も子もドキドキしました。しかし、本番では立派に演奏できホッとしました。子どもは、「やり遂げた」という達成感で親が見ても立派に見え、これからの成長にひと回りもふた回りも大きくなってくれるでしょう。

最後になりましたが本当にありがとうございました。これからも子どもたちの力を発揮できる活動の場を作っていって欲しいと思います。

当協会では、
今後も「楽しんで学べる」ような
様々な事業を実施します！
ぜひ皆さんでご参加ください。

「家庭の日」啓発促進事業

和歌山県では、「ふれあいとやすらぎのある家庭づくり」を推進することを目的に、
毎月第3日曜日を「家庭の日」と定め、啓発活動を行っています。

平成21年度「家庭の日」推進事業絵画優秀作品

今年も温もりや優しさがいっぱいに感じられる作品が勢ぞろい

●ふれあい賞『みかんの収穫』

中井　歩実（海南市立加茂第一小学校 2年）

●やすらぎ賞『親子でお風呂』

三井　真美（和歌山市立和歌山高等学校 2年）

●ファミリー賞『家庭の日』

榊　　由衣（紀の川市立安楽川小学校 4年）

「家族そろって新入生」

小学校に入学する直前のお子さんのいるご家庭にお配りしているリーフレット。

和歌山大学米澤好史教授や信愛女子短期大学室みどり教授、その他経験豊かな編集委員の先生にご協力いただいて4年目となりました。

「今まで何気なく子どもに接していたことでもこんな落とし穴が！」「こういう関わりをすれば良いと思いこんでいたことでも、実は…」といろんなことに気づいてほしいという想いで作成しました。これからの子育てのお役に立てばうれしいです。

それぞれの「家庭の日」
それぞれのご家庭に

平成21年度　青少年「元気和歌山」未来づくり事業

リレー式次世代健全育成事業

地域の青少年を育成するリレー式次世代健全育成事業を通じて、次代を担う青少年育成の循環システムの構築に取り組み、地域における健全育成の体制づくりを図りました。8月に実施した各開催場所の取り組みをご紹介します。

県内4ヶ所で、小学校5年生～高校生を対象に
わかやまの資源である文化の魅力や自然の素晴らしさを感じてもらう機会を！！

和歌山市立少年自然の家

PART1　平成21年8月23日～25日
（ジュニアの部：44名／ユースの部：7名）
PART2　平成22年3月26日～28日
（ジュニアの部：48名／ユースの部：10名）

ジュニアの部では、ドッチビーやカレー材料の食材ラリー、クラフトでの写真立てやキャンプファイアでのスタンツを各班で考えました。

ユースの部では、アイスブレーキングやキャンプファイアのプログラム、また、プログラムを実施する中での危険予知について学びました。キャンプファイアでは、ジュニアの部とユースの部が一緒になって親睦を深めました。

最後に、参加したみんなで旗を作成しました。

和歌山県立紀北青少年の家

PART1　平成21年8月19日～21日
（ジュニアの部：51名／ユースの部：16名）
PART2　平成22年3月20日～22日
（ジュニアの部：55名／ユースの部：19名）

ジュニアの部では、アイスブレーキングや野外炊事を体験し、キャンプファイアのスタンツを各班で考えました。

ユースの部では、野外炊事での危険予知やレクリエーションの指導の仕方、また、キャンプファイアのプログラムについて学びました。キャンプファイアでは、ジュニアの部とユースの部が一緒になって親睦を深めました。

最終日にはジュニアの部･ユースの部合同でテントの設営の仕方を学びました。

夏休みに新しい友達づくり

和歌山県立白崎青少年の家

PART1　平成21年8月15日～17日
（ジュニアの部：52名／ユースの部：32名）
PART2　平成22年3月26日～28日
（ジュニアの部：54名／ユースの部：6名）

ジュニアの部では、テントの設営やピザ作りや白崎海岸のクルージング、野外炊事で魚の開きの体験、おもしろサイエンスでは、ブーメラン作り等をしました。

ユースの部では、野外炊事やレクリエーションの指導方法について学びました。また、場所の特色を活かし、ユースの部ではスキューバ体験もありました。

キャンプファイアでは、ジュニアの部とユースの部が一緒になって親睦を深めました。

和歌山県立潮岬青少年の家

PART1　平成21年8月9日～11日
（ジュニアの部：47名／ユースの部：17名）
PART2　平成22年3月27日～29日
（ジュニアの部：59名／ユースの部：8名）

ジュニアの部では、アイスブレーキングを体験し、カレー選手権として、野外炊事で工夫して作った各班のカレーのおいしさを競いました。

ユースの部では、事前に学んだ施設の利用の仕方をジュニアの部の子どもたちに指導し、キャンプファイアのプログラムについて学びました。

最終日には、ジュニアの部は冷やしうどんを作り、それをユースの部のみんなに振る舞って、親睦を深めました。

参加したジュニアの部の感想

- ユースの部のお兄さん･お姉さん色々教えてくれてありがとうございました。
- ユースの人がとても面白かった。（楽しかった）
- キャンプファイアが盛り上がって楽しかった。
- やさしくしてくれた。

参加したユースの部の感想

- 子どもたちに教えることが楽しいと思った。
- ジュニアの子に分かりやすく伝えるのが難しかったけど分かってもらえたときはうれしかった。
- 教えることの難しさがわかった
（分かりやすく教えることが出来なかった。）

「少年メッセージ2009」和歌山県大会

県内の中学生が、日々の生活の中で何を感じ、どのような想いを抱いているのか…
8月8日（土）に中学生による作文発表会を開催しました。

県内各地から、11,938作品もの応募があり、2回の審査を経て県大会で発表する18名の優秀作品が選ばれました。

大会当日は、350名を越える多くの方々に来ていただきましたので、発表者は非常に緊張したと思います。人前で自分の考えを伝えるということは、なかなか難しいものですが、みなさん、内容的にもすばらしく、また、ほとんどの発表者が原稿を見ない、堂々とした発表でした。

また、大会の司会進行では新宮市立城南中学校のみなさんが、アトラクションでは新宮市立緑丘中学校吹奏楽部のみなさんと太地町民芸保存会の太鼓演奏が大会を盛り上げてくれました。

毎年、子どもたちが主役となり、盛り上げてくれる本大会は、多くの方々の協力と支援で成り立っています。

毎年、たくさんの方が聞きにきてくださるのをお待ちしています!!

少年メッセージ2009　入賞者一覧

賞	氏　名	学　校	表　題
金	中島（なかしま）みゆき	田辺市立　本宮中学校　1年	「父と母への誓い」
銀	玉寄（たまより）　杏奈（あんな）	和歌山県立　日高高校付属中学校　2年	「命、輝かせて」
銀	植田（うえだ）　彩（あや）	有田市立　箕島中学校　3年	「家族とはなにか」
銅	岡畑（おかはた）　里奈（りな）	岩出市立　岩出中学校　3年	「誤解」
銅	山野（やまの）　凱（かい）	和歌山大学教育学部附属中学校　3年	「人はまだまだあったかい！」
銅	水木（みずき）　保葉（やすは）	高野町立　高野山中学校　3年	「負けない」
特別	亀井（かめい）　里沙（りさ）	紀の川市立　粉河中学校　3年	「商店街にもう一度活気を！～忘れられた”温かみ”～」
特別	岩橋（いわはし）　和江（かずえ）	和歌山市立　東和中学校　3年	「自分の居場所をどこに置くのか」
特別	神ノ川静蘭（かみのかわせいら）	白浜町立　白浜中学校　2年	「差別は、つらい」

今年度は、7月31日(土)13時から和歌山県民文化会館小ホールで開催します。
しかも、今年の優秀者には、1週間程度の海外派遣を予定しています!!
是非、中学生の真剣なメッセージを聞きに来てください!!